



# 会報

## WEEKLY REPORT

2024-25 R.I.会長

ステファニー A. アーチック

第2500地区第6分区帯広北ロータリークラブ

会長/村上道隆

副会長/石割昭浩

幹事/中島慎也

[四つのテスト]1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

### 第3164回 例会報告

2025.5.23

●例会日/金曜日 (12:30~13:30)  
●例会場/ホテル日航ノースランド帯広  
●事務局/帯広市西3条南9丁目 帯広経済センタービル4F  
TEL 0155-25-7347

- 点鐘 村上 道隆 会長
- 開会宣言 曾我 浩昌 SAA
- ロータリーソング (奉仕の理想)
- ゲスト紹介 村上 道隆 会長  
北王農林株式会社 常務取締役 藤原 昇 様
- 会食
- 会長挨拶 村上 道隆 会長



こんにちは。

本来は、年2回の3クラブ合同例会の内1回は、移動例会が通例で毎月10日を予定していましたが、今回は小田ガバナー補佐が委員長を務める「母子の健康推進委員会」の第1回レディ・ゴー」の事業と被ってしまいましたので、通常例会とさせていただきます。

プログラムも社会奉仕委員会が担当として、この度は北王農林株式会社常務取締役の藤原様をお迎えし、「農福連携と地域活性」と題して卓話をお願いいたしました。藤原様の会社では、障がい者雇用に力を入れていると聞き、人手不足の折、皆様の会社でもきっとお役に立つ内容と思っております。

平成22年7月から障害者の雇用に関する制度が変わり、当時1.8%が雇用率の基準で、1.8より下回れ

ば、納付金を取める。それを上回れば調整金が支給という制度です。

雇用率の基準は、現在私の会社は2.5%で、それを上回っていますので、調整金をいただいています。これが令和8年7月から2.8%に上がります。

国の施策だから、仕方なく障害者を雇用するのではなく、障がい者の理解を深め、障害者の方々に楽しく仕事をさせていただき、それが会社の利益につながるという、ウィン・ウィンの関係作りが必要になってくると思います。

藤原様の卓話、時間としては短く皆さんにすべてを伝えきれないとは思いますが、私は今日の卓話を大変楽しみにしています。

簡単ですが、会長挨拶とします。

■会務報告 中島 慎也 幹事

・5月30日の例会は休会と致します。

■プログラム

【農福連携と地域活性】

北王農林株式会社

常務取締役 藤原 昇 様



帯広北RC,帯広東RC,音更RC様

### 農福連携

農福連携と地域活性

目次

- 農福連携ってナンダ
  - 農福連携ってなに?
  - 始めたきっかけと悩み
  - 行状によるマッピング
- 農福連携で何が出来る
  - 農作業の委託
  - 農福連携で実現したの
- 農福連携を広める
  - 農業外の連携事例
  - これからの農福連携

その前に①

会社紹介

**生産品目**

- ・産40ha、小麦、スイートコーン、さつまいも、ブルーベリー など
- ・ハウス6棟...アスパラガス、本わさび、ぶどう など

**運営施設**

- ・産40ha「ほなまマルシェ」運営
- ・ブルーベリー収穫体験農場運営

**関連会社**

- 北王ホールディングス 株式会社
- 北王コンサルティング 株式会社
- 株式会社 北王
- 藤原工業 株式会社 など

その前に②

自己紹介

昭和61年生まれ、現在39歳 北海道帯広市出身

帯広小学校、中学校、立命館慶祥高校、立命館大学法学部 卒業

平成20年 北海道銀行入行  
→苫小牧支店在職中に法人融資及び農業融資の担当となり、主にむかわ町、新ひたか町など日高地区の農業者を担当

平成25年10月 北王農林 入社  
主に野菜の仕入れ、販売、6次化、店舗運営を担当

現在に至る

農福連携ってなに?

農業へのメリット

福祉へのメリット

収益アップ・収益向上・規模の管理拡大も期待される 農業の多様な作業⇔作業能力に合った仕事計画

始めたきっかけと悩み

北王農林に入社した時の一番の悩みは人手不足でした。

**対策・外国人技能実習生の活用**

- 平成22年よりベトナムから技能実習生を2名採用。
- 常務4名体制を維持しながら入れ替わりを経て令和3年7月まで在籍。
- 令和2年2月頃に始まった「新型コロナウイルス」の感染拡大により、ベトナム人の採用が一時的に困難になった。

**新たな悩みが生まれた...**

- ・また感染症など世界的なパンデミックが起きたらどうなるのか...
- ・競争リスクなど予測できない事態
- ・専業主婦への公正な報酬
- ・円安で日本を運んでくれるか
- ・月額25万円ほどの会社負担

受け入れる会社も、来日する外国人も共に実行費が不要で一人一人の活用

採用した結果...



行政によるマッチング

幕別町役場の農林課と福祉課が主催となり「就労促進カフェ」を開催



農福連携で出来ること



農福連携で出来ること



農作業の委託



農作業の委託



農作業の委託



農福連携で実現したもの

ふるさと納税の活用

差別化したい手や玉ねぎなどベタな野菜を、農福連携で他社と差別化。同時に高単価を狙い、工賃の上昇を図っている。

農福連携で実現したもの

新規商品作り

市場からの要望もあり、レトルトコーン作りに挑戦。今までは工場に人手が足りなくなることから、皮むきなどの追加の業務は出来なかったが、農福連携で実現可能となった。毎日800〜1,600本の皮むき作業を障害者に委託している。

今では国内のみならず、シガポールなど海外にも輸出、増産するために、農福連携用の補助金なども活用して設備投資も行う予定。

農業外の連携事例

農福マルシェ

毎年野菜の販売イベントを実施。野菜は農業者が準備し、販売を障害者が担当。10月の農業期に販売を任せられることで販売機会を創出。場所は幕別町内緑町のセブンイレブン駐車場で実施。場所を貸してもらえただけでも非常にありがたく、連携していると言えるのではないかと。

農業外の連携事例

工事現場の側に障害者の様子を展示

普賢町の工事現場で昨年12月から今年の2月まで展示。幕別町の菊池建設工業と帯広市の青島舎が連携。「地味な土木工事」に影を落とす。地元の方への印象アップに繋げたいとの思いで実施。青島舎が取り組んでいる街なかの障害者アートを展示する「TOKACHIごちまぜアート展」に共催する形で実施することとなった。

これからの農福連携

新技術×農業×福祉

アスバラやとうもろこしの選別など、熟練した農業者でも判断が難しい作業への挑戦。

高性能カメラを用いたアスバラの形状選別や、とうもろこしの皮の先端不稔を見分けるなど、機器の進化を活かす。

これからの農福連携

観光×農業×福祉

約1,000本のブルーベリー収穫体験農場を運営。車イスの方や障害のある方でも楽しめる農場となるように、意見交換会や収穫体験会を実施。放課後等デイサービスでの活用など、誰でも楽しく農業に触れることができる農場の在り方を目指しています。

私が思う大事なこと

「可能性を共に開拓する」  
「障害があるからこの仕事は任せられない」、私もそう思っていました。でもその仕事を各工程で分けたり、道具を工夫するだけで、出来ることはたくさんあります。出来ないし決め付けたのは私たち受託する側です。障害にも色々な分類や軽重があります。人手不足は今後も確実に更に進んでいく中で、地域の人材として一度見直して欲しい。

「協力してくれる人が必ずいる」  
障害者を受け入れるにあたっては、就労支援事業所の職員の方がとても力になってくれます。私の好きな言葉は「助けは頼む」。野菜を実際しく作るのは農業者が担当し、障害者の管理は事業所にお任せしています。役場や振興局など行政も力になってくれるはずです。

ご清聴ありがとうございました。  
私は農福連携をただのボランティア活動や福祉活動と捉えていません。儲かるためのパートナーとして連携しています。実際の現場を見学したい！もっと細かいところを聞きたい！と言う方は是非ご連絡ください。

次週のプログラム予定

「休会」

閉会宣言

曾我 浩昌 SAA

点鐘

村上 道隆 会長

例会案内

〈月曜日〉 広尾RC:日高信金広尾支店 〈水曜日〉 帯広RC:ホテル日航ノースランド 〈木曜日〉 足寄RC:足寄銀河ホール21  
 帯広南RC:北海道ホテル 上士幌RC:川村福祉会館 清水RC:清水町中央公民館  
 〈火曜日〉 芽室RC:めむろーどセミナー 音更RC:ハビオ木野 帯広西RC:北海道ホテル  
 帯広東RC:ホテル日航ノースランド

出席報告/伊藤 隆志 出席委員長

会員数	計算に用いる 会 員 数	ホームクラブ 出 席 数	メイクアップ	欠 席	出席率